

(公財) 日本ボールルームダンス連盟

会長 田邊 重光 殿

平成28年1月24日 (日)

青森県ボールルームダンス連盟  
会 長 山本 薫

本日の会議について、意見を申し上げます。

1. 「本日の日程の問題」について

私の元へ案内状が届きましたのは、1月19日 (火) 夕方で、その5日後に出向とは、無理な話でありますし、又、その重要な案件に関わらず、案内状は送ったので、出向できない場合は代理でも良いという安易な考えだという事が伺われました。

2. 「県連盟の定款問題」について

本部が、公益財団を取得後、各連盟は、財団が示す要項に沿って速やかに定款を提出するように言われ、青森県は3ヶ月以内に草案を提出しましたが、その後、今日まで何の連絡も有りません。又、その途中に於いて今度は改正せよという案内が回ってきました、未だ検討もされていない定款について何をか云わんやです。そのうち澤野弁護士が居なくなり宙に浮いたままです。

3. 「WDC 問題」について

安西前会長が WDC 会長のドニー・バーンズ氏と会談し、WDC の意向に沿った運営をすると約束してきたのに、会長が交代し、DSCJ に加盟し、アマチュアとの連携を図る等、東北の事情など、お構い無しのトップダウン的手法は非常に問題が有ります。又、ダンス界の意見を聞き、それを反映すると言った参事会も全く機能しておりません。

4. 「西部日本 BDF の除名」について

この件に関しては、全く情けない所業です。たとえどんな事が有っても、今迄の日本のダンス界を背負ってきた西部日本 BDF を除名する事は、今の財団が分裂しても良いという覚悟の上だったと考えてしまいます。そんなに財団の言う通りの組織を作りたいのでしょうか？それでは誰も付いてきません。

5. 「その他」について

選手の財団登録の件、財団開催のクラス戦の件、日本インターにあつては責

任をなすりつけ合い、その他の全ての行事を赤字にしておきながら、今度は東部日本 BDF に「スーパージャパンカップ」の主管を委嘱したい等、財団内部の組織改編を考えもせず、1月11日の「東部日本 BDF 県連盟会長会議」に於いては、稲川氏に意見集約を丸投げし、会長は姿も見せない、こんな事で各県連盟の信用を得る事が出来るのでしょうか？

6. 私は財団の分裂を願うものでは有りません、しかし、過去に受けたこの不信感を払拭する事は難しいと考えております。ここにおられる東北ブロックの各県連盟長も同じ意見だと思います。それで要望書を提出するに至った訳です。

7. 私の希望としては、会長以下、評議員全員が自ら辞任し、新たな役員構成で再出発をして、以前のような一つの財団としての復活を願うものです。もし可能であれば、参考までに下記のような構成が望ましいと考えております。

**【ダンス界からの理事】**

各広域団体長 5名

東部日本 BDF 3名

西部日本 BDF 2名

北関東・中部・九州 各1名－3名

東北ブロック・関東甲信越ブロック 各1名－2名

計15名

**【有識者】**

5名

合計 20名での役員体制

以上